

ウエルハーネスだより



184号

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和3年9月25日発行

理事長からの言葉

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、今年は彼岸になっても30度以上の日々が続いています。温暖化はどこまで進むのでしょうか。新型コロナ感染症ですが、ようやく感染者が減ってきました。このままいくと、緊急事態宣言が解除され、いつものアクリル板越しですが面会を再開できそうです。また、現在ラインを使ったご利用者様の近況報告のシステムを検討しています。もうしばらくお待ちください。

ワクチン接種が進んできました。50%以上の方が2回接種を終了しているようです。これが、感染者数や重症化率の減少にかなり効果を上げているのではないのでしょうか。実際に先月末、上尾ほほえみの杜で職員1名が家庭内感染により新型コロナウイルスに罹患しましたが、発症日から2日間ほど出勤していたのですが、ご利用者様・職員ともに誰もうつりませんでした。また、この職員は3人暮らしで、ワクチンを接種していたのは本人のみ。症状はのどの痛みと軽い咳程度で済んでいます。同居の方は、下痢が止まらないとか39度台の熱が1週間以上続くなど、症状が重くなっています。復帰後ワクチンを打っておいてよかったとしみじみ語っていました。

あとは治療薬ですね。今の所、中等以上の人にはレムデシベルがかなり効果を上げているようです。軽度の人には『抗体カクテル療法』が加わりました。この療法はご存知の方も多いたと思いますが、2つの中和抗体を合わせた点滴薬「ロナブリーブ」を使います。対象は、発症から7日以内の軽症から酸素投与が必要な中等症Iの患者で、一定以上の年齢で、肥満・糖尿病・慢性腎臓病・高血圧を含む心血管疾患など重症化リスク要件を1つでも抱える人です。アナフィラキシーショックがまれにみられるので、点滴後24時間の経過観察が必要です。従来は入院患者だけでしたが、現在はこの処置がとれるなら、在宅での治療も可能となりました。埼玉県では酸素ステーションでも治療が可能そうです。この療法はトランプ大統領が治療したことでもわかるように、初期の方にはかなり有効な

ようです。

もっと手軽な飲み薬はどうかというと、アメリカでは開発が進んでいるようで、ファイザーは年内には使用が開始できるのではとっています。飲み薬で治療ができるようになると、いよいよインフルエンザ並みの扱いになってくるのではと期待が高まります。また、先日、国内の大手製薬会社の方の話を又聞きで聞いたのですが、その会社では既に治療薬の開発は済んでいて、後は承認を得るだけだそうです。ただ、日本国内での承認はかなり難しいので、一度海外へ持ち出して海外メーカーと共同開発という形で承認を得て、その後日本国内での承認ということになるのではという話でした。ワクチン、治療薬ともに国産化されれば、かなり安心感も高まるのではないのでしょうか。また、わざわざ海外メーカーのものを買わなくて済むので、経済的にも意味があるのではと思います。

どうやら3度目のワクチン接種も行われるようです。いろいろな取り組みがうまくいって、何とか来年の今頃にはかつての日常生活が送れるようになっているといいのですが。

8～9月の行事

9/20(月)敬老の日に記念品として、特養は、のびのび靴下をデイは、マスクポーチをプレゼントしました。また、昼食には祝膳に「お赤飯・すまし汁・鰻の蒲焼き・秋野菜のかき揚げ・炊き合わせ・梨」を召し上がって頂きました。おやつには、竹柿会の焼き印入り十万石饅頭や水羊羹を召し上がりました。

特養では、誕生日会を開きケーキやプリン、ゼリーなどを召し上がり、プレゼントをお渡ししました。また、お茶会など行うユニットもありました。

デイでは、向日葵飾りやスイカキーホルダー作りをしました。また、お月見飾り作りや季節の貼り絵も行いました。



9～10月の予定

10/16(土)は、秋の味覚の昼食として「きのこご飯・赤だし汁・さんまの蒲焼き・鶏肉と秋野菜の味噌炒め・菊花和え・栗のムース」を召し上がって頂く予定です。特養では、秋の運動やラジオ体操レク、お茶会などユニット毎に考えています。また、誕生日会をお祝いします。

デイでは、秋の水彩画や間違い探し、おむすびゲームを行います。また、秋の向山運動会やハロウィンの制作を予定しています。





デイ お月見飾り



デイ
テラニウム作り



特養 誕生日会



デイ すいか
キーホルダー作り



9/20 敬老の日祝い膳



特養 お茶会



デイ
向日葵飾り



特養 季節の貼り絵
&おやつレク

